2012 年度入学試験問題

世界史B

（試験時間　13：25～14：25　60 分）

1．この問題は，入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ，解答してください。

2．解答用紙は，記述解答用紙のみです。

3．解答は，必ず解答欄に記入してください。なお，解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。

4．解答は，HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し，訂正する場合は，プラスチック製の消しゴムを使用してください。

5．解答用紙には，受験番号と氏名を必ず記入してください。

122－SQ－W

I　以下の文章中の空欄A～Dに最も適切な語句または数字を入れたうえで，続く設問に答えなさい。(20点)

世界恐慌の進行とともに，資本主義諸国は，関税の引き上げや通貨の切り下げなどを行なって自国経済を回復させようとした。関税の引き上げは自国産業の保護に役立つし，通貨の切り下げは輸出の増加につながると考えたからである。その後，イギリスやフランスは，特恵関税制度によって本国と海外領土を結びつけ，地域外の諸国との経済関係を排除しようとするブロック経済化を推進していく。こうして自由貿易体制が損なわれ，世界貿易の規模は縮小していった。他方，これらの国々ほど海外に植民地市場をもたないドイツ・イタリア・日本などは軍国主義を強化し，広域経済圏を樹立するために近隣諸国の侵略に乗り出していく。

戦前からの国際経済のこうした状況が第二次世界大戦①の遠因の1つになったという認識と反省のもとに，1944年7月に連合国側の代表がアメリカに集まり，（　A　）会議を開催した。その結果，途上国の開発援助を主な目的とする国際復興開発銀行（ＩＢＲＤ，世界銀行）と，国際通貨システムの安定・維持をはかるための国際通貨基金（ＩＭＦ）の設立が決定された。これらの組織は，1945年12月に正式に発足した。また，1947年10月には，国際貿易の自由化を促進していくために「関税と貿易に関する一般協定」（ＧＡＴＴ）が締結され，1948年に発効した。

これらの諸制度は，アメリカのドルを基軸通貨として構築された。その主なポイントは，アメリカは金1オンス（約31.1グラム）＝（　B　）ドルという比率で金とドルとの交換に応じ，金の裏づけのある基軸通貨ドルを流通させる一方で，各国は固定相場制を維持する義務を負うことにある。例えば，日本は，1ドル＝360円±1％の範囲内で為替相場を維持することになった。これは世界の金の7割近くを保有するなど当時のアメリカの圧倒的な経済力を反映しており，ドルと各国通貨との間の交換比率，すなわち為替相場を固定することによって国際貿易を安定させ，世界経済の発展を目指したものである。

ところが，1970年代に入ると，こうした戦後の国際通貨体制は動揺し，変容を余儀なくされることになった。1958年以降，アメリカの国際収支は赤字になっていたが，ベトナム戦争に伴う軍事支出の増大などでそれがさらに悪化し，ドルへの信用は

大きく揺らいだ。その結果，1971年8月にアメリカの（　C　）大統領は金とドルの交換停止，および10パーセントの輸入課徴金の設定に踏み切った。いわゆるドル=ショックである。その後，ドル価値の低下により固定相場制の維持が困難になった。こうして，先進資本主義諸国では1973年の春までに固定相場制は崩壊することになり，変動相場制へと移行して現在に至っている。

アメリカや日本などの先進資本主義諸国は同じ1973年の秋には，②石油危機（オイル=ショック）〔第1次〕にも見舞われることになった。その結果，それまで中東の安価な石油に依存していた先進資本主義諸国の経済は大混乱に陥ってしまう。具体的には，急激な物価上昇，失業率の上昇，経済成長率の低下などが起こり，日本では高度経済成長の時代が終焉をむかえることになった。

世界貿易の面では，自由・多角・無差別という原則のもとに自由貿易推進を目指したガットを発展的に引き継ぐ形で1995年に（　D　）が発足し，モノだけでなく，サービスや情報を含めた形での貿易自由化が試みられている。だが，多国間で行なう関税削減・撤廃の交渉は，実際には進展が困難であるという面もある。そこで現在では，主として2国間で関税やサービス貿易の自由化を進める自由貿易協定（ＦＴＡ）や，ＦＴＡを基礎としていっそう幅広い分野で経済関係を強化しようとする経済連携協定（ＥＰＡ）を締結するような動きもみられている。

問1　下線部①に関連して，以下のア～オの出来事を年代順に並べ替えなさい。

ア．ポツダム宣言の発表

イ．ノルマンディー上陸

ウ．独ソ戦の開始

エ．ヤルタ会談

オ．テヘラン会談

問2　下線部②に関連して，その直接原因を次の語群から4つの用語を用いて90字以内で説明しなさい。

語群

イスラエル，第3次中東戦争，ホメイニ，湾岸戦争，第4次中東戦争，イラク，石油輸出国機構，イラン革命，アラブ石油輸出国機構

II　以下の文章中の空欄Ａ～Ｊに最も適切な語句を入れたうえで，続く設問に答えなさい。ただし，同じ記号の空欄には同じ語句が入る。(30 点)

前 8 世紀半ば以降になると，ポリス内の人口増加に伴う土地不足や政争などを背景として外の世界に活路を見出そうとしたギリシア人たちは，地中海と黒海の各地に植民市を建設していった。それらの植民市には，マッサリア（現在のマルセイユ），ネアポリス（現在のナポリ），①シラクサなどがある。ビザンティオン（ビザンティウム，現在のイスタンブル）もその１つであった。

東方正帝リキニウスを倒して全ローマ帝国の支配権を掌握したコンスタンティヌス帝（大帝）は，当時の東方における最大の強敵であった（　Ａ　）からの侵略に備えるためもあって，ビザンティウムへの遷都を決意した。こうして，この町は 330 年にコンスタンティノープルとして生まれ変わり，ローマ帝国の新たな首都となる。コンスタンティヌス帝はキリスト教の公認によって帝国の統一をはかり，官僚制度を整備するとともに，純度の高いソリドゥス（ノミスマ）金貨を鋳造し，地中海交易を発展させることなどに努めた（ちなみに，この金貨は，後に中世の地中海交易で基軸通貨の役割を果たすことになる）。

だが，その後，属州の反乱やゲルマン人の侵入により帝国内部が混乱すると，帝国の統一的な支配が困難になっていく。この結果，395 年のテオドシウス帝の死に際して帝国は２人の子供に分割され，ローマ帝国はアルカディウス帝が相続した東とホノリウス帝が相続した西に分裂する。このうち，西ローマ帝国は 476 年に②オドアケルによって滅亡するが，東ローマ帝国（ビザンツ帝国）はその後も 1000 年近くにわたって存続することになった。

初期のビザンツ帝国を繁栄に導いたのが，6 世紀のユスティニアヌス帝（大帝）である。彼は旧ローマ領の奪還を狙い，ヴェリサリウス将軍らに命じてヴァンダル王国や東ゴート王国を征服するとともに，西ゴート王国からイベリア半島の一部を得ることに成功した。また，経済的には中国から導入した技術をもとに（　Ｂ　）業をおこしたとされる。だが，長期にわたる軍事遠征と広大な領土の経営は帝国財政を圧迫し，ユスティニアヌス帝の死後，イタリアはランゴバルド王国や③フランク王国に奪われ，東方では（　Ａ　）が再び勢力を増すとともに，アヴァール人のバルカン半島南下や

宗教的問題が絡んだ東方属州民の反抗にも苦しめられるようになる。

このような状況下において7世紀はじめに帝位につき，ヘラクレイオス朝を開いたヘラクレイオス1世は（　A　）と戦い，その遠征は一定の成功を収めた。しかし東方での勢力回復は，つかの間のものであった。その後，（　A　）を倒して急膨張を続けてゆくアラブ人の前に，ビザンツ帝国はエジプトおよびシリアを失ってしまう。

宗教面では，ビザンツ帝国はギリシア正教を奉じ，同じキリスト教とはいうものの，西方のローマ=カトリック教会とは異なる道を歩んでいく。とりわけ8世紀に（　C　）が発布した聖像禁止令は，聖像を用いた布教を認めるか否かに関して東西両教会の間で大論争を巻き起こし，禁止令自体は後に解除されたものの，最終的には1054年の教会の東西分裂の原因ともなった。また，教皇権と皇帝権（王権）が分離されていた西ヨーロッパとは違い，ビザンツ帝国では皇帝が事実上ギリシア正教会の首長の任命権をもつことにより，皇帝が宗教・世俗の両権を握る皇帝教皇主義をとった。

これと関連して，ビザンツ文化は，ギリシア古典文化の遺産とギリシア正教の融合という点に独自性をもつといわれている。前者については，（　D　）の『イリアス』と『オデュッセイア』の最初の校訂本を編纂(へんさん)したことなどが挙げられるであろう。また，後者については，ユスティニアヌス帝によってコンスタンティノープルに建てられた大聖堂である（　E　）がとりわけ名高い。

ビザンツ帝国は，9世紀後半から11世紀半ばまでのマケドニア朝の時代に，再び繁栄をむかえることになる。特に，（　F　）人殺しという異名をもつバシレイオス2世は1014年の決定的な戦闘で大勝利を収め，第1次（　F　）帝国を征服・支配し，バルカン半島を制圧した。

だが11世紀後半になると，ビザンツ帝国は，聖地イェルサレムを支配下に置き，東地中海沿岸に進出してきた（　G　）朝によって小アジアを奪われてしまう。これに対してビザンツ皇帝は，時のローマ教皇に救援を求めた。こうして1096年の第1回十字軍以降，正式なものだけで7度にわたって<u>十字軍</u>④がおこされることになる。

ビザンツ帝国との関係で特に重要なのは，第4回十字軍であろう。この時は，ヴェネツィアが西ヨーロッパから聖地への海上輸送を主として担当することになっていた。ところが，ヴェネツィア商人たちは自分たちの商業圏の拡大を狙って，第4回十字軍

の攻撃目標を聖地イェルサレムではなく当時ライバルであったコンスタンティノープルへと向けさせたのである。その結果，コンスタンティノープルは占領・略奪され，十字軍によって（　H　）帝国が樹立されることになった。（　H　）帝国は，後にニカイア帝国（第4回十字軍によるビザンツ帝国中絶後に建てられたビザンツ系の国家）によって滅ぼされたが，この出来事によって十字軍の宗教的性格は著しく弱まることになった。

アナトリア（小アジア）西北部におこったオスマン帝国は，建国当初からビザンツ帝国と争い，その支配領域を拡大させていった。その後，オスマン帝国は1402年のアンカラの戦いで惨敗し，皇帝（　I　）がティムールの捕虜になり，大打撃を受けることになる。しかし，その後ふたたび勢力を盛り返したオスマン帝国は，メフメト2世の時代にコンスタンティノープルを包囲し，ついに1453年にビザンツ帝国を滅亡に追い込んだ。この時，オスマン帝国と戦ったビザンツ帝国最後の皇帝コンスタンティノス11世は，包囲戦のさなかに行方不明となった。しかし，モスクワ大公国の（　J　）は，ビザンツ帝国最後の皇帝の姪と結婚し，モスクワをローマ，コンスタンティノープルに続く「第3のローマ」と名づけたとされている。

問1　下線部①に関連して，この地の出身で梃(てこ)の原理などを発見したが，ポエニ戦争中にローマ兵に殺害された人物は誰か。

問2　下線部②に関連して，その後にオドアケルの王国を倒した東ゴート王は誰か。

問3　下線部③に関連して，次のア～オの出来事を年代順に並び替えなさい。

ア．ラヴェンナ地方などが教皇に寄進され，教皇領が始まる。

イ．ランゴバルド王国が滅亡する。

ウ．トゥール・ポワティエ間の戦いでイスラーム軍が撃退される。

エ．クローヴィスがアタナシウス派に改宗する。

オ．当時の教皇によってカール大帝に西ローマ帝国の帝冠(ていかん)が与えられる。

問4　下線部④に関連して，十字軍に関連する一連の出来事の記述として正しくないものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．第1回十字軍による1099年の聖地の回復後，現地に残留した戦士に封土が与えられ，イェルサレム王国が建設された。

イ．フランス王ルイ9世は第6回および第7回の十字軍を主導したが，結局は失敗に終わった。

ウ．ウルバヌス2世は1095年にクレルモン宗教会議（公会議）を開催し，十字軍を提唱した。

エ．第3回十字軍では，イギリスのリチャード1世とサラディン（サラーフ＝アッディーン）が激突した。

オ．1291年，アイユーブ朝の攻撃を受けて，イェルサレム王国の最後の拠点であったアッコンが陥落した。

III　以下の文章は，中国国民党を創設した孫文が，1890年代から自身の支援者であり，当時は逓信（ていしん）大臣を務めていた犬養毅に，1923年11月16日付けで送った書簡の抜粋である（〔　〕は訳者注）。これを読んで，設問に答えなさい。(50点)

木堂〔犬養の号〕先生机下

（中略）

ヨーロッパ大戦〔第一次世界大戦〕以後，すでに世界の大勢は一変しており，たとえば強盛な上に戦勝の余勢を駆っているイギリスですら，①譲歩してアイルランドに自由を認め，②エジプトに独立を許し，③インドの解放を受け入れざるをえないのは，なぜでしょう。それはヨーロッパ大戦以後，新たな世界勢力が出現したからです。その勢力とは，何でしょう。それは，人類の抑圧されている部分が，みな大いに覚醒して，いっせいに立ち上がり強権に抵抗しているのです。人類のこの部分はアジアに最も多いので，アジア民族もこの世界の潮流を感じ取り，きっと立ち上がってヨーロッパの強権に抵抗するでしょう。現在は④トルコがその先導で，それに続くのは⑤ペルシャとアフガニスタンであり，さらにインドと⑥マラヤが続くでしょう。

この他に最も巨大かつ最も重要で，列強間の競争と最も深刻に関わるのが，すなわち中国四億の人民です。この四億の人民を奴隷にできる者が，きっと世界を牛耳ることになります。それゆえ列強の中から当初，これを併呑しようとする者が現れると，他の列強に阻まれたため，そこで⑦瓜分（かぶん）（瓜を切り分けるように版図を分割すること）が唱えられるようになったのですが，期せずして日本がアジアの東方海上に台頭したので，瓜分の策は未遂に終わりました。この時に中国四億の人民とアジア各民族は，みな日本をアジアの救世主と見なしたのです。ところが，なんと日本には遠大な志も高尚な策もなく，ヨーロッパの侵略的手段を真似ることしか知らず，ついには⑧朝鮮を併呑するという行動に出たため，アジア全域の人心を失うことになったのは，まことに残念であります。

古人は，「その心を得れば，その民を得る。その民を得れば，その国を得る」と言いました。もし⑨日本がロシアに勝った後，古人の言葉に倣うことができていれば，今日ではアジア各国が，みな日本を頼りとしていたでしょう。現在，イギリスがアイルランドに自由を認め，エジプトに独立を許したのは，まさにこれを意図したものです。

もし日本が翻然と覚醒して，イギリスがアイルランドに行なったことを朝鮮で行ない，失敗を補うことができれば，まだアジアの人心を取り戻せるでしょう。さもなければ，アジアの人心は全てソビエト=ロシアへと去ってしまい，これは断じて日本の利益ではありません。

ソビエト=ロシアとは，ヨーロッパの抑圧された人民の救世主，強権者の大敵であって，それゆえ列強政府は出兵してロシアを攻撃した[10]のですが，逆に各国人民がその政府を攻撃したため，イギリス・フランス・アメリカ等各国は，いずれも人民の内輪もめゆえに，ロシア遠征軍を撤収させざるをえなかったのです。現在，アジア人民が受けている抑圧はヨーロッパ人民より甚だしく，それゆえ救済への願望もより切実なのですが，この大陸には弱い者を助けて衰えた者を支え，道義を保ち正論を貫く国家がないため，ソビエト=ロシアに期待せざるをえません。すでにペルシャとトルコは願いを叶え，中国とインドもこれに頼るのです。

（中略）

再び起こるであろう世界戦争について論者は，多くが黄色人種と白色人種の戦争に必ずなるとか，あるいはヨーロッパとアジアの戦争になると言いますが，私は決してそうではなく，公理と強権の戦争になると断言できます。（中略）もし先生が志を実行できれば，日本は必ず抑圧された者の友となり，すると再び世界に起こる大戦争に対して，準備をせねばなりません。それでは準備の方法とは，どのようなものでしょう。先生のために，それを述べたいと存じます。

第一に，日本政府は現在，断固かつ決然と中国革命の成功を助け，〔中国が〕対内的には統一し対外的には独立して，列強の束縛を一挙に打破できるようにすべきです。これにより日中の親善を図ることができ，東アジアの平和が永遠に保たれます。（中略）今は幸いにも先生が入閣され，必ずや日本の従来の失策と，むやみと列強に従う主張を一掃することができましょうが，その最も重要なのが，中国の革命事業に対してであります。中国の革命は，ヨーロッパ列強が最も嫌うものなのです。中国の革命が一旦成功すれば，ベトナム[11]・ビルマ[12]・ネパール・ブータン等の諸国は，きっとまた帰順して中国の藩属となるでしょうし，インド・アフガニスタン・アラブ・マラヤ等の諸民族は，きっと中国に倣いヨーロッパ〔の支配〕から離れて独立するでしょう。そうすればヨーロッパ帝国主義の経済侵略は，必ず失敗します。それゆえ中国の革命

は，実にヨーロッパ帝国主義に死刑を宣告する前兆であり，列強政府があらゆる手段で中国革命に反対しているのは，そのためなのです。ところが日本政府は理解せず，それどころかこれ〔中国革命〕に反対しているのは，なんら自殺と異なりません。

（中略）

第二に，まず日本は〔ソビエト＝〕ロシア政府を承認すべきで，またこれを即座に行なうべきであり，決して列強と歩調を合わせてはなりません。（中略）あるいは日本の立国の根本がソビエト主義と異なり，それゆえ承認できないというのであれば，これは実に見識の狭い議論です。ソビエト主義とは，⑬孔子の説くところの大同であります。

（中略）

ヨーロッパ大戦以後，世界の大勢が一変しただけでなく，人心や思想も一変したことを知らねばならず，それに伴って日本の外交方針も変化する必要があり，それでこそ世界において地位を保つことができ，さもなければきっとドイツの轍を踏むことは，疑いを容れないのです。⑭ホノルル〔アメリカの軍港〕の配置や，シンガポール〔イギリスの軍港〕の設備を見れば，いったい誰を目標としているのでしょう。このような事態になって，なお日本がロシアと連帯して友好国とせねば，きっと海陸から挟撃されるだけなのです。イギリス・アメリカの海軍は，いずれも日本より数倍も強く，⑮ロシアの陸軍は今日において，実に天下最強であることを知らねばなりません。孤立した日本が，この海陸の強大な隣国に立ち向かって，はたして幸運〔な勝利〕を望めるでしょうか。それゆえロシアとの親善は，日本が自存する唯一の方途なのです。

以上の二つの策は，実に日本が国威を発揚し，世界を左右する遠大な構想であり，ここに興廃存亡が懸かっています。日本はヨーロッパ大戦の当初，向かうべき方向を誤り，世界の盟主となる好機を失いましたが，一度誤った上に再度誤ることができるでしょうか。どうか先生には熟慮の上，迅速に対処されるよう望みます。

孫文　謹啓

民国12年〔1923年〕11月16日　広州にて記す

（『孫文革命文集』岩波文庫より引用したが，一部の語句を改めた）

問1　下線部①に関連して正しくないものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．1914年にアイルランド自治法が成立したが，第一次世界大戦により実施は延期された。

イ．1916年にアイルランド独立派のシン=フェイン党が武装蜂起したが，鎮圧された。

ウ．1922年にアイルランド全島が自治領となり，アイルランド自由国が成立した。

エ．1937年にアイルランド独立派は憲法を制定し，エールを正式国名とした。

オ．1949年にアイルランドはイギリス連邦を離脱して，アイルランド共和国となった。

問2　下線部②に関連して正しいものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．1805年にエジプトの支配者となったムハンマド=アリーは，西洋的近代化に反対した。

イ．1882年にウラービーの反乱は鎮圧され，ドイツがエジプトを軍事占領した。

ウ．1914年にエジプトはイギリスの保護国となり，やがてワフド党の独立運動が起こった。

エ．1922年にエジプト王国が成立すると，イギリス軍の駐留や経済の支配は終わった。

オ．1952年にエンクルマ等の将校団が王制を打倒し，翌年にエジプト共和国が成立した。

問3　下線部③に関連して正しくないものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．1917年にイギリスは，第一次世界大戦終了後の漸進的なインド自治実現を約束した。

イ．1919年に制定されたインド統治法は，州政治の一部でインド人の自治を認めた。

ウ．1919年にインド人の政治・言論活動を弾圧すべく，カーゾン法が発布された。

エ．1919年に反英運動が武力弾圧される，アムリットサール事件が発生した。

オ．1922年に民族運動指導者のガンディーは，非暴力不服従運動を中止させた。

問4　下線部④に関連して正しいものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．オスマン朝は第一次世界大戦に敗れ，ヴェルサイユ条約で領土の縮小を強いられた。

イ．ムスタファ=ケマルは青年トルコ党を組織し，アンカラに独自の政権を樹立した。

ウ．連合国に支援されたギリシア軍と戦い，ムスタファ=ケマルはイズミルを奪回した。

エ．ムスタファ=ケマルはスルタン制を廃止したが，カリフ制は存続させた。

オ．連合国とのサン=ジェルマン条約により，トルコ新政権は治外法権を撤廃した。

問5　下線部⑤に関連して正しくないものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．英露協商により両国は，カージャール朝イランにおける勢力範囲を確定した。

イ．イギリスと連携したロシアの武力介入により，イラン立憲革命は挫折した。

ウ．イランは第一次世界大戦に際して中立を宣言したが，英露両軍に占領された。

エ．ロシア革命が発生すると，イラン北西部のロシア進駐軍は増強された。

オ．イギリスに支援されたレザー=ハーンが，パフレヴィー朝を樹立した。

問6　下線部⑥に関連して正しいものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．14世紀末に成立し中継貿易により繁栄したマラッカ王国は，仏教国家であった。

イ．16世紀～17世紀にマラッカは，フランスとスペインに相次いで占領された。

ウ．19世紀にイギリスは，ペナン・マラッカ・バタヴィアを併せて海峡植民地とした。

エ．イギリス領マラヤでは，銀の採掘と砂糖きびの栽培が主要産業であった。

オ．孫文が指導した革命運動は，東南アジアの華僑を重要な支持基盤とした。

問7　下線部⑦に関連して正しくないものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．1895年に日本は，清朝に台湾を割譲させた。

イ．1898年にロシアは，清朝から遼東半島南部を租借した。

ウ．1898年にイギリスは，清朝から威海衛と九竜半島を租借した。

エ．1899年にフランスは，清朝から膠州湾を租借した。

オ．1900年にアメリカのジョン=ヘイは，清朝の領土保全を提唱した。

問8　下線部⑧に関連して正しいものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．1895年の下関条約で，日本は清朝の朝鮮に対する宗主権を認めた。

イ．1905年のポーツマス条約で，ロシアが韓国の指導・監督権を得た。

ウ．1904年～1907年の日韓協約で，日本は次第に韓国を保護国化していった。

エ．1910年に日本は韓国を併合し，ソウルに統監府を設置した。

オ．1919年にソウルで始まった五・四運動は，やがて朝鮮半島全体に拡大した。

問9　下線部⑨に関連して正しくないものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．1895年に日本が獲得した遼東半島を，ロシアは三国干渉により清朝へ返還させた。

イ．1898年に日本は遼東半島を放棄する代償として，東清鉄道の敷設権を取得した。

ウ．1901年に北京議定書が調印された後も，ロシアは中国東北部に軍隊を駐留させた。

エ．1902年に日本とイギリスは，ロシアの南下を警戒して同盟を結んだ。

オ．1907年に日本はロシアとの間に，日露協約を結んだ。

問10　下線部⑩に関連して正しいものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．11月革命によりケレンスキーを首相とするソビエト政権が成立した。

イ．ソビエト政権は単独でドイツと，ブレスト=リトフスク条約を結んだ。

ウ．革命の波及を恐れる米英仏等の各国が開始した対ソ干渉戦争に，日本は反対した。

エ．ソビエト政権が組織したコミンテルンは，対ソ干渉戦争により解散した。

オ．ソビエト政権の統治下においても，工業の国有化は進まなかった。

問11　下線部⑪に関連して正しくないものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．清仏戦争に勝ったフランスは，1887年にフランス領インドシナを成立させた。

イ．ファン=ボイ=チャウ等の提唱により，ドンズー（東遊）運動が起こった。

ウ．ファン=ボイ=チャウ等が結成したインドシナ共産党が，独立運動を展開した。

エ．第二次世界大戦期には日本軍が，フランス領インドシナに進駐した。

オ．第二次世界大戦が終了すると，ベトナム民主共和国の独立が宣言された。

問12　下線部⑫に関連して正しいものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．18 世紀に成立したトゥングー朝が，ビルマ最後の王朝となった。

イ．19 世紀にビルマは 3 度の戦争を経て，イギリス領マラヤに編入された。

ウ．1930 年代にアウンサン等がイスラーム同盟を結成し，独立運動を展開した。

エ．1937 年にイギリスはビルマに，限定的な自治権を与えた。

オ．1954 年にジュネーヴ休戦協定が結ばれ，イギリスはビルマから撤退した。

問13　下線部⑬に関連して正しくないものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．孔子は内面的徳目としての仁や，形式的規範としての礼を説いた。

イ．孔子が記したとされる『春秋』は，魯国を中心とする年代記である。

ウ．孔子の系譜を受け継いだ思想家に，孟子や荀子がいる。

エ．孔子と弟子達の言行録として，『論語』が編纂された。

オ．孔子の説いた思想が，やがて始皇帝により全国へ広められた。

問14　下線部⑭に関連して正しいものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．19 世紀初頭にカラカウア 1 世が，初めてハワイ諸島を統一した。

イ．19 世紀中葉以後，ハワイ王国は日本や中国からの移民を拒んだ。

ウ．1893 年にハワイ王国は共和制に移行し，女王リリウオカラニが大統領となった。

エ．1919 年のヴェルサイユ条約により，ハワイはアメリカの委任統治領となった。

オ．太平洋戦争開始時，日本軍はハワイ真珠湾を奇襲し，イギリス領マラヤに上陸した。

問15　下線部⑮に関連して正しくないものを，次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア．対ソ干渉戦争の参加国の内，シベリアからの撤兵が最も遅れたのは日本である。

イ．ソビエトの支援を受けて，1924年にモンゴル人民共和国が成立した。

ウ．1931年の柳条湖事件を機に，日本の関東軍は中国東北部を占領し，1932年に満州国が建てられた。

エ．1939年に満州・モンゴル国境で，日ソ両軍が衝突するノモンハン事件が起こった。

オ．1945年に日本は日ソ中立条約を破棄して，ソビエトに宣戦した。

問16　この書簡を執筆した頃に孫文が採用した，いわゆる「国共合作」の展開過程を，下記の語句を用いて200字以内で説明しなさい。

個人の資格　　ソ連人顧問　　上海クーデタ　　張学良

中華人民共和国　　台湾